

令和4年度

事業報告書

公益財団法人 広島原爆障害対策協議会

令和4年度 事業報告書

本協議会は、長年にわたり被爆者や市民の健康管理及び健康の維持増進に取り組んできており、令和4年度も引き続き、1)「被爆者の健康診断・健康管理事業」、「被爆者の健康管理に関する調査研究事業」及び「被爆者の援護福祉事業」、2)「市民の健康診断・健康管理事業」、3)「検査・診療事業」、4)「人間ドック健診事業」、5)広島市の指定管理者として本協議会が入居している「広島市健康づくりセンターの管理運営」及び「健康教育・子育て支援事業」等を実施した。

ただし、新型コロナウイルス感染症（以下「新型コロナウイルス」という。）感染防止のため、健康診断の肺機能検査を引き続き中止し、健康教育・子育て支援事業の一部業務を一時中止又は規模縮小して実施した。

また、受診者の減少を踏まえ、正職員の削減（医師等を除き退職不補充）等を実施した。

1 被爆者の健康診断・健康管理事業（公益事業1）

(1) 健康診断の実施

- ① 健康づくりセンターでの施設健診のほか、公民館・集会所等での出張健診を延べ332会場(※1)で実施した。

また、出張健診において、受診対象となる地域が広範囲となる会場については、被爆者の高齢化等を踏まえ、最寄りのバス停から近くの会場まで送迎を実施した。(送迎者数37人)

(※1) 被爆者健診のみ単独実施：147会場、住民健診と同時実施：185会場

【健診場所別の受診件数】

(単位：件)

区分	施設(※3)	出張	計
一般検査	3,380 (81)	6,080	9,460
がん検診等(※2)	10,562 (204)	10,162	20,724
被爆二世健康診断	2,372	18	2,390

(※2) 胃がん検診、肺がん検診、乳がん検診、子宮がん検診、大腸がん検診、多発性骨髄腫検診、骨粗鬆症検診の合計

(※3) ()内は、下記②の休日に受診した件数

- ② 広島市健康づくりセンターでは、平日のほか、第2・第4土曜日及び第1・第3日曜日の休日にも各種検診を実施した。(胃がん検診の内視鏡検査は平日のみ、乳がん・子宮がん検診は第3日曜日のみ実施。年間で受診率の低い4月及び8月の土曜日及び日曜日(4月第3日曜日を除く。)の検診は行わなかった。)
- ③ 被爆二世健康診断は、平成29年度から引き続き受診の予約を広島市及び広島県経由でなく本協議会が直接受ける方法により、広島市健康づくりセンター及び出張健診会場(広島市のみ)で実施した。
- ④ 出張健診の日程は、広島市の広報や本協議会のホームページで周知を図った。

また、被爆者定期健康診断未受診者に対して年1回受診勧奨通知を発送して受診促進を図った。(通知数：3,111通、受診者数：844件、受診率：27.1%)

【検査別件数】

(単位：件)

区 分		計 画	実 施 数	
被 爆 者	一 般 検 査	9,500	9,460	
	精 密 検 査	9,500	9,459	
	胃がん検診	X 線	560	456
		内 視 鏡	470	480
	肺 が ん 検 診	5,500	5,454	
	乳 が ん 検 診	1,000	993	
	子 宮 が ん 検 診	720	672	
	大 腸 が ん 検 診	3,600	3,583	
	多 発 性 骨 髄 腫 検 診	6,900	6,751	
	骨 粗 鬆 症 検 診	2,400	2,335	
被爆二世健康診断(※4)		2,010	2,390	
合 計		42,160	42,033 (計画件数の99.7%)	

(※4) 被爆二世健康診断は受診者数で表示

(2) 健康管理の推進

被爆者の高齢化を考慮し、次の事項を重点に取り組んだ。

① 悪性新生物の早期発見

広島大学大学院医歯薬保健学研究院、同原爆放射線医科学研究所、公益財団法人放射線影響研究所等の協力を得て、胃がん・肺がん・乳がん・子宮がん・大腸がん・多発性骨髄腫等の悪性新生物の早期発見に努めた。

② 生活習慣病及び高齢者に多い疾患の早期発見と指導

糖尿病・動脈硬化症・高血圧等の生活習慣病及び骨粗鬆症、サルコペニア(※)、認知症等の早期発見に努めるとともに、保健指導、栄養指導を行った。

(※) 進行性及び全身性の骨格筋量及び骨格筋力の低下を特徴とする症候群

(3) 健康診断医療機器等の整備

検査機器の老朽化等に対応するため、次のとおり機器を更新・整備した。

また、令和4年4月から新たな総合健診システムが稼働した。

① X線骨密度測定装置 整備 (660万円)

② 超音波画像診断装置 整備 (825万円)

(4) 被爆者健康管理資料の作成等

受診者の健診資料(健康診断個人票・がん症例報告等)を集計して、概要を本協議会の事業概要やホームページに掲載した。

また、調査研究資料として活用できるよう整理・保存した。

- ・ 健康診断個人票 51,682 件

(5) 黒い雨体験者相談・支援事業の補助

国の黒い雨体験者に対する相談・支援事業を広島県、広島市の委託を受けて実施した。なお、黒い雨体験者への被爆者健康手帳の交付に伴い、巡回相談会の予約者数が減少したため、広島県・広島市との協議のうえ、予約者のいない巡回相談会を中止した。(8会場)

- ・ 相談会実施 2会場、相談者 16人

2 被爆者の健康管理に関する調査研究事業 (公益事業1)

(1) 調査研究の継続実施

本協議会での検診データを活用して、被爆者の糖代謝に関する研究、睡眠の量及び質と各種疾患についての横断並びに縦断調査等、平成 29 年度以前に実施したものに加えて、平成 30 年度に新たに着手した次の 6 項目の研究を引き続き実施した。

また、適宜、それまでの成果等を関係学会や医学雑誌、会報等で発表した。

- ① 加熱式タバコが喫煙に関連した自覚症状にもたらす影響についての検討
- ② 健診結果に基づく癌と生活習慣病に関する横断並びに後向きコホート調査
- ③ 高齢者における血清 NT-proBNP 値の意義についての観察研究
- ④ 高齢者における心血管危険因子と予後についての前向き観察研究
- ⑤ 中高年者における非空腹時脂質値に関する横断並びに後向きコホート調査
- ⑥ 糖代謝異常症例における心血管危険因子と予後の検討

(2) 文献の収集

原子爆弾後障害に関する医学論文及び原爆関係図書等の資料を収集し、その活用を図った。(令和 5 年 3 月 31 日現在の蔵書数 1,054 点)

(3) 第 62 回原子爆弾後障害研究会

令和 4 年 6 月 5 日(日)、「第 62 回原子爆弾後障害研究会」が長崎市で Web 開催され、広島市側の窓口として支援した。

3 被爆者の援護福祉事業 (公益事業2)

(1) 被爆者相談の実施

広島市の協力の下、被爆者相談を行った。

(単位：件)

区 分	実施数
生活・福祉相談	104
健康・医療相談	12
原爆関係諸制度	29
被爆者の子の相談	48

そ の 他	10
計	203

(2) 援護措置の実施

本協議会独自で次の援護措置を行った。

(単位：件)

援護措置区分	実施数
生活困窮者援護金	0
被爆身障者見舞金	16
福祉用具利用料補助	296
計	312

4 市民の健康診断・健康管理事業 (公益事業1)

(1) 高齢者医療確保法に基づく健康診査等の実施

① 特定健康診査等の実施

ア 健康づくりセンターでの施設健診のほか、公民館・集会所等での集団健診を延べ265会場(※1)で実施した。

(※1) 住民健診のみ単独実施：80会場、被爆者健診と同時実施：185会場

【健診場所別の受診件数】

(単位：件)

区 分	施 設(※3)	集 団	計
特定健康診査等(※2)	10,217 (725)	3,071	13,288
後期高齢者健康診査	3,478 (112)	1,453	4,931

(※2) 医療保険未加入者分(211件)及び被用者保険加入者分(1,892件)を含む。

(※3) ()内は、下記ウの休日に受診した件数

イ 上記アのうち、全国健康保険協会と広島市との連携のもと、協会けんぽの被扶養者を対象とする特定健康診査と5大がん検診(※4)との同時実施(※5)を6会場で実施した。

(※4) 胃がん検診、肺がん検診、乳がん検診、子宮頸がん検診、大腸がん検診

(※5) 特定健康診査：339件、がん検診：1,044件

ウ 広島市健康づくりセンターでは、平日のほか、第2・第4土曜日及び第1・第3日曜日の休日にも各種検診を実施した。(年間で受診率の低い4月及び8月の土曜日及び日曜日(4月第3日曜日を除く。)の検診は行わなかった。)

② 特定保健指導の実施

特定健康診査等の健診結果に基づき、医師及び管理栄養士による生活習慣改善のための支援として特定保健指導を実施した。

【実施件数】

(単位：件)

区 分	動機付け支援	積極的支援	計
特 定 保 健 指 導	441	284	725(※6)

(※6) うち特定健康診査等受診日に実施：716件

③ 集団検診の日程は、広島市及び本協議会のホームページで周知を図った。

(2) 健康増進法に基づくがん検診等の実施

① がん検診等の実施

ア 健康づくりセンターでの施設検診のほか、公民館・集会所等での集団検診を延べ408会場(※1)で実施した。

(※1) がん検診のみ単独実施：131会場、健康診査等と同時実施：277会場

【検診場所別の受診件数】 (単位：件)

区 分	施 設(※3)	集 団	計
がん検診等(※2)	44,896 (3,264)	23,175	68,071

(※2) 5大がん、骨粗鬆症検診、肝炎ウイルス検査の合計

(※3) ()内は、下記ウの休日に受診した件数

イ 上記アのうち、健康診査等と5大がんの同時実施(※4)を84会場実施するとともに、受診機会の拡大のため、休日の集団検診(※5)を26会場、夜間の集団検診(※6)を5会場で実施した。

(※4) 健康診査等：2,431件、がん検診：14,319件

(※5) 健康診査等：560件、がん検診：3,374件

うち17会場は健康診査等と5大がん検診の同時実施

(※6) 健康診査等：16件、がん検診：127件

ウ 広島市健康づくりセンターでは、平日のほか、第2・第4土曜日及び第1・第3日曜日の休日にも各種検診を実施した。(胃がん検診の内視鏡検査は平日のみ、乳がん・子宮頸がん検診は第3日曜日のみ実施。年間で受診率の低い4月及び8月の土曜日及び日曜日(4月第3日曜日を除く。)の検診は行わなかった。)

② 集団検診の日程は、広島市及び本協議会のホームページで周知を図った。

また、中・南・西・東・安芸区のがん検診未受診者に対して年1回受診勧奨通知を発送して施設検診の受診促進を図った。

(通知数：17,752通、受診者数：5,919件、受診率：33.3%)

(3) 感染症法に基づく結核健康診断の実施

【健診場所別の受診件数】

上記(2)の肺がん検診受診者数を含む。

(単位：件)

区 分	施 設	集 団	計(※)
結核健康診断	9,035	4,235	13,270 (10)

(※) ()内は、結核健康診断の単独受診件数

(4) 健康管理資料の保管

精密検査実施者については、前後の検診データ(カルテ、心電図等)を含めて個人ごとにファイル化して(電子データはシステム内で)保管した。

・ ファイル化数 66,970人分(令和5年3月31日現在)

【検査別件数】

(単位：件)

区 分		計 画	実 施 数
特 定 健 康 診 査 等		14,360	13,288
後期高齢者に対する健康診査		5,700	4,931
特 定 保 健 指 導		692	725
胃 がん 検 診	X 線	9,800	8,214
	内 視 鏡	3,000	2,882
肺 が ん 検 診		22,900	20,132
乳 が ん 検 診 (※1)		7,700	7,072
子 宮 頸 が ん 検 診 (※1)		6,600	5,694
大 腸 が ん 検 診		18,200	16,645
骨 粗 鬆 症 検 診		4,000	4,177
肝 炎 ウ イ ル ス 検 査 (※2)		2,740	3,255
結 核 健 康 診 断		15,180	13,270
合 計		110,872	100,285 (計画件数の90.5%)

(※1) 広島市の無料クーポン(女性特有のがん検診推進事業)分を含む。

乳がん検診：334件、子宮頸がん検診：19件

(※2) 広島県の肝炎ウイルス検査(50件)を含む。

5 広島市健康づくりセンターの管理運営事業 (公益事業3)

令和4年4月からの5年間、広島市から指定管理者の指定を受け、協定書等に基づき広島市健康づくりセンターの管理運営、健康科学館での健康教育事業及び子育て支援事業を行った。令和4年度は、新型コロナウイルス感染防止のため、中止していた団体利用の受入を6月1日から再開し、開館時間の短縮・入館制限についても7月23日から解除し、通常どおりの運営に戻した。

(1) 健康教育事業

健康科学館年間入館者数：21,042人 【計画：52,800人】

① 健康科学展示施設の運営

新型コロナウイルス感染防止対策のため、夏の特別展は規模を縮小して再開した。

- ・ 企画展 年4回(延べ290日)開催 【計画：年4回】
企画展観覧者数：20,998人
- ・ パネル展 年12回 【計画：年12回】

② 健康ライブラリーの運営

使用中止していた健康ライブラリーは7月23日から再開した。

- ・ 図書及びビデオを利用した学習の場の提供 利用者：812人

③ 健康に関する研修等の実施

広島市の方針に基づく新型コロナウイルス感染防止対策を講じて実施した。

- ・ 主催による研修会・イベント 年 58 回開催 【計画：年 46 回】

参加者：641 人

④ ボランティア（ヘルスサポーター）の養成・育成

- ・ ボランティア養成講座 年 1 回（6 課程）開催 【計画：年 1 回】
- ・ ボランティア育成講座 年 7 回開催 【計画：年 2 回】
- ・ ボランティア活動実績 年 401 回（延べ 756 人） 【計画：年 430 回】

⑤ 健康に関する情報の収集・提供

身近な健康情報を取りまとめて広報紙や本協議会のホームページで提供した。

(2) 子育て支援事業

① ファミリー・サポート・センター事業

保育施設への送迎や保育時間以外の自宅等での預かり等の子育てを援助支援する人（提供会員）の育成や、そのような援助を受ける人（依頼会員）とのマッチング等を実施した。なお、病児・病後児援助については中止した。

- ・ 会員数：3,090 人（提供会員：319 人、依頼会員：2,734 人、両方：37 人）
- ・ マッチング件数：441 件
- ・ 提供会員登録希望者への講習会 年 1 回開催

② つどいの広場事業

乳幼児と保護者が、他の子どもや保護者と一緒に遊んだり、保護者同士の情報交換等の場を提供するとともに、子育て等の情報提供、講演会、ボランティアによる育児相談を実施した。なお、つどいの広場事業は新型コロナウイルス感染防止対策のため、引き続き午前午後に利用を分ける二部制や予約制により実施した。

- ・ 利用者数：6,541 人（大人：3,368 人 乳幼児・幼児：3,173 人）
【計画：20,600 人】
- ・ 子育て等に関する講習会 年 40 回開催

③ パパとママの育児教室の開催

第 1 子妊娠中の夫婦を対象に、助産師や先輩パパによるアドバイスやオムツ交換実習等を実施した。なお、当事業の対象者が妊婦であることを考慮し、新型コロナウイルス感染防止対策として、健康状態の確認と密集回避のため 1 回当たりの参加者数を縮小して実施した。

- ・ 年 34 回開催 参加者：1,322 人 【計画：年 34 回】

6 検査診療及び人間ドック健診等の事業（収益事業）

(1) 検査診療等の事業

本協議会の健診等において、悪性疾患等が疑われた者に、確定診断等のための詳細な検査（CT・MRI・内視鏡・超音波検査等）を行った。（治療が必要な場合には、本人の希望に応じて外部医療機関を紹介した。）

また、広島市医師会員からの依頼に基づき生体検査（CT・MRI・超音波検

査等)を行った。

【主な検査件数】

- ・ C T 検査 1,264 件 (うち医師会員依頼 465 件)
- ・ M R I 検査 1,475 件 (うち医師会員依頼 604 件)
- ・ 超音波検査 7,710 件 (うち医師会員依頼 47 件)

(2) 人間ドック健診等の事業

事業所・健康保険組合等からの委託を受け、人間ドック健診や事業所健診等を行うほか、全国健康保険協会管掌健康保険加入事業所を対象に生活習慣病予防健診を行うとともに、メンタル面での健診メニューとしてストレスチェックを行った。

また、健診結果に基づき、生活習慣の見直し等を指導し、病気の発症を未然に防ぐとともに、疾病を早期に発見し、早期治療ができるようフォローアップを行った。

なお、新型コロナウイルス感染防止のため、肺機能検査を中止した。

【健診別件数】

(単位：件)

区 分	計 画	実 施 数
人 間 ド ッ ク 健 診	1,813	1,835
生 活 習 慣 病 予 防 健 診	3,455	3,339
事 業 所 健 診	3,505	3,591
ス ト レ ス チ ェ ッ ク	800	808
合 計	9,573	9,573 (計画件数の 100.0%)

(3) その他の健診等の事業

- ① 軽度認知症等の早期発見の見地から、以下の検査を行った。

【検査別件数】

(単位：件)

区 分	計 画	実 施 数
ものわすれチェックテスト (早期認知機能低下の早期発見)	90	89
ロコモチェック (運動機能低下の早期発見)	30	10
合 計	120	99 (計画件数の 82.5%)

- ② 各種予防接種の実施

広島市健康づくりセンターにおいて、各種予防接種を実施した。

【主な接種件数】

- ・ 新型コロナワクチン接種 4,214 件
- ・ インフルエンザワクチン接種 2,284 件

- ③ 医療機関からの依頼による胃内視鏡検診の二重読影を行った。(1,701 件)

7 放射線被曝者医療の国際協力事業への協力

(1) 放射線被曝者医療国際協力推進協議会への協力

「放射線被曝者医療国際協力推進協議会 (HICARE)」の主要推進団体として、被曝者医療を学ぶために来日した外国の研修生の受入れを再開した。

- ・ 受入実績 5回 延べ15人

(2) 来日被曝者の健康診断、医療相談等の実施

来日した被曝者の健康診断及び医療相談、被曝者手帳の取得に必要な手続きの相談等を実施した。

- ・ 相談者数 2人

8 将来構想検討委員会の設置・運営

令和5年1月の創立70周年に向け、今後の本協議会の在り方について検討するために設置された「将来構想検討委員会」の河野修興委員長より、本協議会の松村誠会長に対し、令和4年12月22日に答申書が提出された。

9 公益財団法人広島原爆障害対策協議会創立70周年記念講演会の開催

令和5年3月29日(水)、広島国際会議場において記念講演会を開催した。

- ・ 講演
「広島原爆障害対策協議会70年の歩み」
前田 亮 広島原爆障害対策協議会健康管理・増進センター所長
- ・ 記念講演
「被曝者の現状と今後のケア」—医療・介護の課題—
鎌田 七男 広島大学名誉教授

10 事業報告の附属明細書

記載すべき事項はありません。

健康診断受診状況一覧

1. 被爆者の健康診断

(単位：件)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (A)	令和4年度 (B)	対前年度比 (B) / (A)
一 般 検 査	14,599	13,011	10,140	8,663	9,460	109.2%
精 密 検 査	14,628	13,032	10,155	8,662	9,459	109.2%
胃 が ん 検 診	1,937	1,539	1,069	902	936	103.8%
肺 が ん 検 診	8,056	7,194	5,850	5,189	5,454	105.1%
乳 が ん 検 診	1,520	1,451	1,063	943	993	105.3%
子 宮 が ん 検 診	1,154	1,043	769	654	672	102.8%
大 腸 が ん 検 診	5,595	5,130	3,833	3,451	3,583	103.8%
多 発 性 骨 髄 腫 検 診	9,996	8,922	7,356	6,466	6,751	104.4%
骨 粗 鬆 症 検 診	3,513	3,081	2,562	2,364	2,335	98.8%
被爆二世健康診断(※)	2,285	2,149	1,881	2,042	2,390	117.0%
計	63,283	56,552	44,678	39,336	42,033	106.9%

(※) 被爆二世健康診断は受診者数で表示している。

2. 市民の健康診断

(単位：件)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (A)	令和4年度 (B)	対前年度比 (B) / (A)
特 定 健 康 診 査 (※)	15,845	14,853	11,911	12,226	13,288	108.7%
後 期 高 齢 者 健 康 診 査	5,074	5,340	4,015	3,981	4,931	123.9%
特 定 保 健 指 導	783	635	529	510	725	142.2%
胃 が ん 検 診	13,906	12,794	10,351	10,795	11,096	102.8%
肺 が ん 検 診	24,009	22,790	18,745	18,562	20,132	108.5%
乳 が ん 検 診	7,917	8,208	5,861	6,665	7,072	106.1%
子 宮 頸 が ん 検 診	6,399	6,627	4,788	5,411	5,694	105.2%
大 腸 が ん 検 診	18,502	17,849	15,224	15,604	16,645	106.7%
骨 粗 鬆 症 検 診	3,973	3,455	3,639	3,706	4,177	112.7%
肝 炎 ウ イ ル ス 検 査	6,623	4,547	2,767	2,624	3,255	124.0%
結 核 定 期 健 診	16,071	15,260	12,437	12,234	13,270	108.5%
計	119,102	112,358	90,267	92,318	100,285	108.6%

(※) 特定健康診査には被用者保険加入者及び医療保険未加入者の健康診査を含めている。

3. 主な検査件数

(単位：件)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (A)	令和4年度 (B)	対前年度比 (B) / (A)
C T 検 査	1,473	1,435	1,205	1,167	1,264	108.3%
M R I 検 査	1,351	1,514	1,324	1,494	1,475	98.7%
胃 内 視 鏡 検 査	5,198	5,453	4,778	5,508	5,786	105.0%
大 腸 内 視 鏡 検 査	464	516	454	368	355	96.5%
ブドウ糖負荷試験	44	25	10	73	51	69.9%
超 音 波 検 査	7,900	7,722	7,328	7,477	7,710	103.1%
胃透視検査(検診分)	16,019	17,269	11,625	11,152	11,310	101.4%
計	32,449	33,934	26,724	27,239	27,951	102.6%